

## 「山の地図を読む」報告

渋谷

日程：机上講習 4月23日（土） 北浦和バスターミナル 3F 第一・二会議室  
実技講習 4月24日（日） 奥武蔵・ユガテ周辺

参加者：机上 84名  
実技 44名（抽選）

多数の参加を頂きました。  
申込者の多さから、地図の読み方、コンパスの使い方に関心を寄せていることは山を安全に登りたいとの意志と思います。  
机上は全員が聴講できました。  
実技が抽選となりました。漏れてしまった方は来年の再チャレンジに期待しています。

### <机上講習>

一般講義（基礎知識、使用する地形図とその情報、ガイドブックの重要性、計画段階での地形図の有効利用、真北(地球回転軸)と磁石が指す磁北の違い)は短くして、①地形図で何を読むのか、②地図とコンパスで、「①進行方向の確認」、「②現在地の確認」、「③山座同定＝目標物の確認」の3手法については時間を多く取り、会場を明日の現地に見立てての講義を行いました。  
多少なりとも理解して頂いたかなと思います、  
会場が広く、スクリーンが小さく低いため急遽、壁紙に投影したので見にくい点はあったことは反省です。  
次回は大きな白布を用意します。  
「シルバーコンパス」については案内状に写真を添えたので間違いなく持参されました。

### <実技講習>

天候は雨天の予報にも関わらず、好天に恵まれ遠望もでき実技には最適な1日でした。  
東吾野駅前では早速2地点を想定して「進行方向の確認」を重点に時間をかけて行いました。  
登山途中では見渡せる山・建物を想定して「現在地の確認」「山座同定＝目標物の確認」を地図とコンパスを使い実習し、現在地の確認ができたのと遠くの山が何にかが判り感激し、手法が理解されたようでした。  
実際に道で迷う時は見渡しが利かない林やガスの中であり、この場合には自分で歩いてきた地形・時間・距離・身近な周囲の地形・樹形と重ね合わせて現在地の確認をすることが最も重要であることを教えました。  
44名の参加でしたので全員集合の説明では声が行き届きませんでした。班毎にフォローして貰いました。  
途中のユガテでは垂れ桜の満開の下、昼食を広げました。  
帰路では疲れの中、地図とコンパスを下げ晴れ晴れとして武蔵横手駅に着きました。  
駅前で質問・復習等を行いたかったのですが、電車の待ち合わせ時間がなく直ぐの解散となりました。

4月末に行いましたので、多少木々の芽吹きがありました。遠望できました。